

福井県陶芸館(1/2)

「いやしの広場」陶芸館へお越しください!

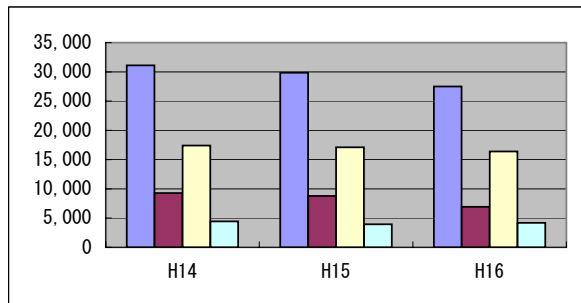
所在地	丹生郡越前町小曾原120-61		
設置年月日	昭和46年4月1日		
施設の種類	陶芸館	施設管理主体	県
設置の目的	越前焼を「見る」(展示資料館)、「作る」(陶芸教室)、「使う」(茶苑)の3つの体験により、越前焼の振興を目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造2階建 延2,187㎡ 展示資料館・陶芸教室・茶苑・庭園(幽石庭)		
職員数	正職員7人、非常勤嘱託5人 アルバイト2人 計14人		

利用状況等

	H14	H15	H16
陶芸館	31,116	29,850	27,512
(展示資料館)	9,285	8,796	6,933
(陶芸教室)	17,401	17,104	16,394
(茶苑)	4,430	3,950	4,185

利用者負担(利用料金)等

入館料 (常設展)	大人	100円
	高校・大学生	無料
	小・中学生	無料



利用状況の推移	近年、利用者は全体として減少傾向にありますが、顧客主義と意識改革の徹底を図り、平成16年度は新規の陶芸講座の企画によるリピーターの確保、茶苑行事の見直し等による利用促進に努め、茶苑の利用者数については約6%増加しました。
---------	--

16年度の特徴について

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的に貴重な古越前焼の収集、展示。特に、故水野九右衛門氏より寄贈いただいたコレクションをデジタル化し、インターネットのHPIに掲載するため準備を実施 ・陶芸に関するわかりやすい講座として「陶芸よもやま話講座」を平成16年度より開催 ・陶芸教室において、来年の「干支づくり」、桃の節句に合わせて「土雛づくり」など、年間を通じた季節感のある楽しい企画を初めて実施 ・てひねりコースや絵付けコース等の陶芸の体験 ・越前焼の茶碗を使った抹茶点出し <p>○展示資料館は約7千人、陶芸教室は約1万6千人、茶苑は約4千人の利用がありました。</p>
------	--

● 平成17年新緑の頃の茶室(越知庵)の写真



福井県陶芸館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	80,500	63.9%
	退職給与引当金繰入	▲ 1,974	-1.6%
	計	78,526	62.3%
物にかかるコスト	物件費	34,146	27.1%
	維持補修費	2,509	2.0%
	減価償却費	6,089	4.8%
	計	42,744	33.9%
その他	公債費(利子)	0	0.0%
	その他	4,660	3.8%
	計	4,660	3.8%
合計		125,930	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	446,572	固定負債	55,020
投資等	0	流動負債	0
流動資産	0	正味資産	391,552
計	446,572	計	446,572

《資料館の越前焼の展示》



施設の特徴 大人から子どもまで楽しく越前焼(陶芸)を体験できます。

今後の課題 陶芸館全体の利用者が減少傾向にあることから、より質の高い展示、また、陶芸教室、茶苑も併せた利用促進に向け、経営的視点に基づいた積極的な集客が課題となっています。

(単位 千円)

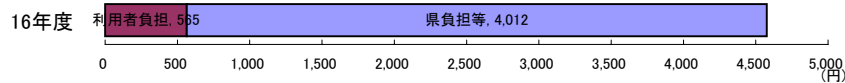
収入			
	利用料等収入	15,553	12.4%
	その他収入	5,436	4.3%
	一般財源	104,941	83.3%

利用料等収入計	15,553,000 円
利用者1人あたり平均利用料	565 円
利用者1人あたりコスト	4,577 円

《陶芸教室風景》



利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特色

施設の設置が、展示資料館が昭和46年、陶芸教室が昭和47年、茶苑が昭和48年と古く、減価償却費の割合が低くなっています。また、有形固定資産には、土地および美術品425,732千円を含み、全体の95%を占めています。

今後の事業方針

県民のゆとりあるライフスタイルへの志向や民間企業の社員の福利厚生事業の一環として陶芸館を通年型で活用できるよう、従来のひねりコース等だけではなく、「陶芸よもやま話講座」や「電動ろくろ講座」、「干支づくり、土雛づくり、花入れづくり」等の四季折々の企画を展開し、リピーターや本物志向の利用者のニーズにも適合した、楽しい企画を展開していきます。

取組み内容

平成17年10月22日～23日越前陶芸村で開催される国民文化祭茶道フェスティバルに協賛し、特別展「萬古焼と越前焼」を10月5日～11月23日に開催しました。

また、丹南地域の伝統的工芸品産地(越前焼、越前漆器、越前和紙、越前打刃物)との連携により、相乗効果を得られるような利用促進へ向けた取組みの検討を始めています。

さらに、陶芸館利用者の利便性の向上を図るため、入館料等についてクーポン制度を導入することにより、より一層の利用者の増加を目指します。